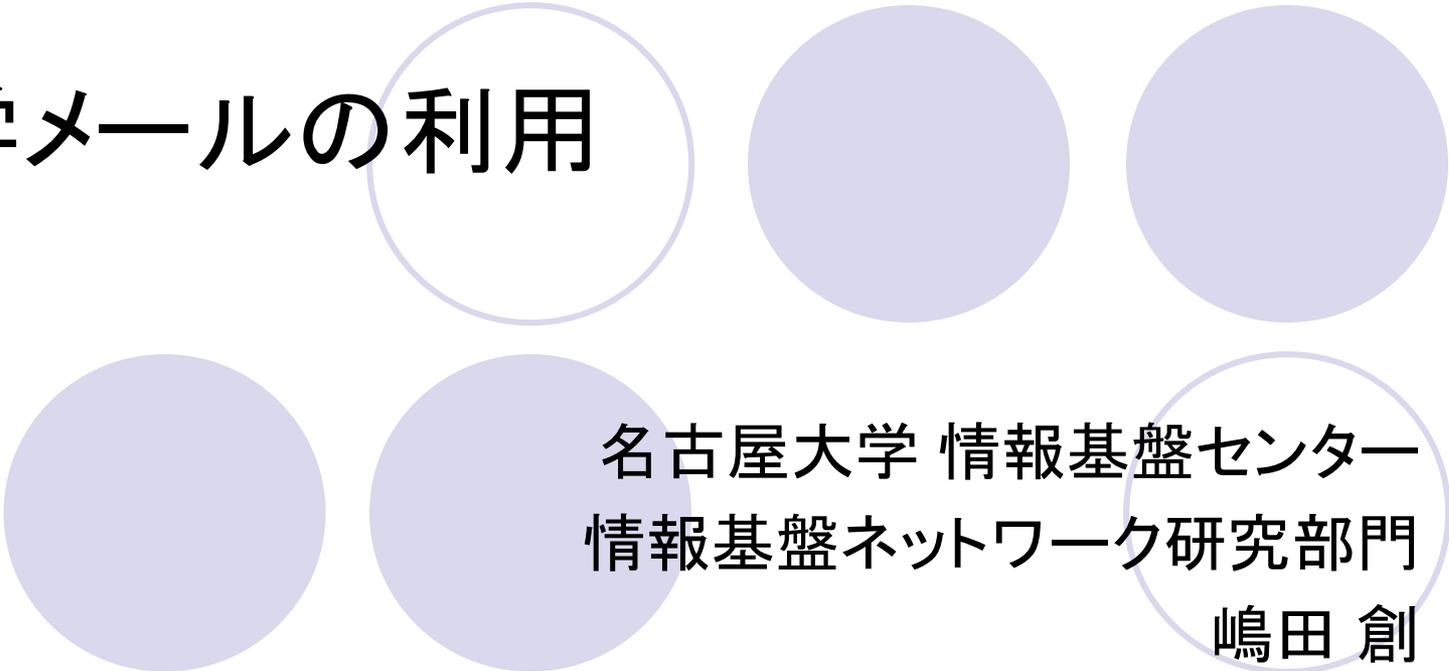


全学メールの利用



名古屋大学 情報基盤センター
情報基盤ネットワーク研究部門
嶋田 創

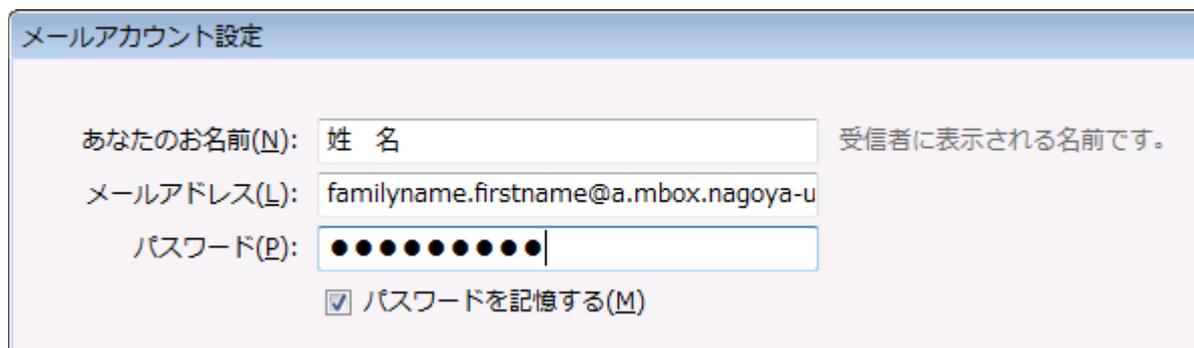
全学メールサービス

- 名大ID所持者にメールアカウントを提供
 - <http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/numail/>
検索情報: 名大 全学メール
 - 自分のメールアカウントの確認も可能(名大IDでログイン)
 - Webメール(ブラウザから使える)もあります
 - <https://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/zengakumail/>
 - 全学メールやメディアセンターのページからリンクをたどる
- メディアセンターに入っているメールクライアントではMozilla Thunderbirdを推奨
- Mozilla Thunderbird設定方法
 - <http://www.icts.nagoya-u.ac.jp/ja/services/numail/settings/thunderbird.html>
 - 検索案内: 名大 設定 Thunderbird



Thunderbird設定(1/3)

1. Thunderbirdを立ち上げる
2. Altボタンを押してメニューバーを表示させる
3. 「ファイル→新規作成→既存のメールアカウント」で次の入力欄を表示させる
4. 名前、メールアドレス、パスワードを入力して「続ける」を押す



メールアカウント設定

あなたのお名前(N): 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L):

パスワード(P):

パスワードを記憶する(M)

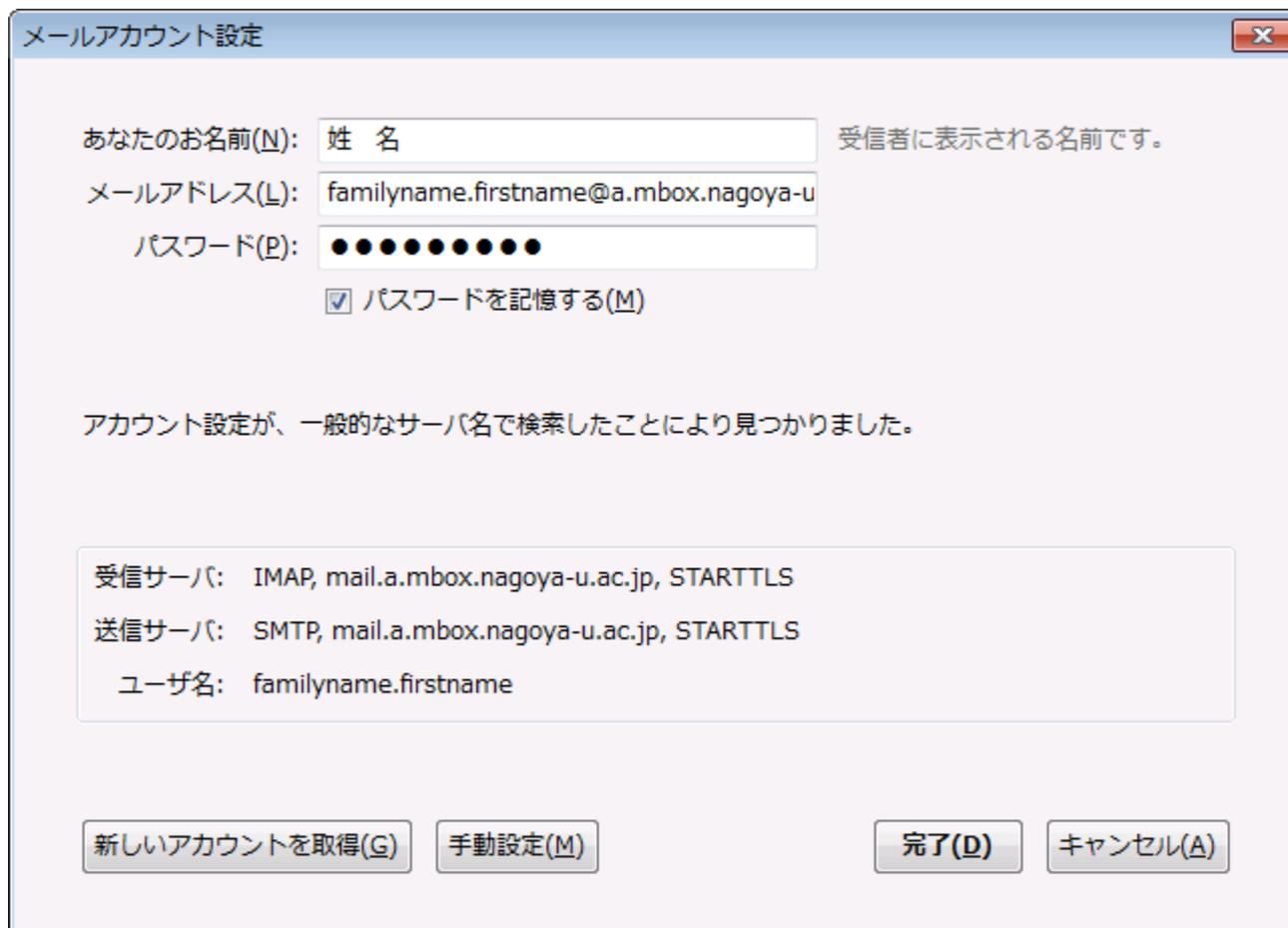
新しいアカウントを取得(G)

続ける(C)

キャンセル(A)

Thunderbird設定(2/3)

5. Thunderbirdが気をきかせてサーバを設定してくれるが、「手動設定」を押して修正



メールアカウント設定

あなたの名前(N): 姓 名 受信者に表示される名前です。

メールアドレス(L): familyname.firstname@a.mbox.nagoya-u

パスワード(P): ●●●●●●●●

パスワードを記憶する(M)

アカウント設定が、一般的なサーバ名で検索したことにより見つかりました。

受信サーバ: IMAP, mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp, STARTTLS
送信サーバ: SMTP, mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp, STARTTLS
ユーザ名: familyname.firstname

新しいアカウントを取得(G) 手動設定(M) 完了(D) キャンセル(A)

Thunderbird設定(3/3)

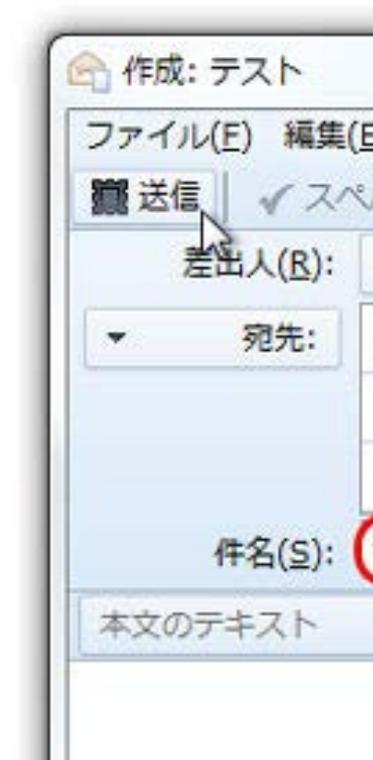
注: *は自分のメールアドレスの「mbox」の前の部分のアルファベットを入れる

- 「受信サーバ」を「IMAP」「mail.*.mbox.nagoya-u.ac.jp」「993」「SSL/TLS」に変更
- 「送信サーバ」を「mail.*.mbox.nagoya-u.ac.jp」「587」「STARTTLS」に変更
- 「ユーザ名」を自分のメールアドレスに変更
- 「再テスト」を押し、何も文句を言われなければ「完了」を押し

	サーバのホスト名	ポート番号	SSL	認証方式
受信サーバ:	IMAP ▼ mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp	993 ▼	SSL/TLS ▼	通常のパスワード認証 ▼
送信サーバ:	SMTP mail.a.mbox.nagoya-u.ac.jp ▼	587 ▼	STARTTLS ▼	通常のパスワード認証 ▼
ユーザ名:	iame@a.mbox.nagoya-u.ac.jp			

送受信のテスト

- [作成]をクリック
 - メッセージ作成のウィンドウが開く
- [宛先]欄に自分のメールアドレスを記入
- [件名]欄に「テスト」などの件名を適当に記入
- 大きな記入欄に本文を適当に記入
- [送信]をクリック
- [受信]をクリックし送信したテストメールが届いているかどうかを確認



標準的なメールの書き方

- [宛先]欄に送信先メールアドレスを記入
- 複数の送信先があるならば、下の空欄の冒頭をクリックして [宛先]を追加
 - 内部的には、以下のようにカンマで区切られて送信
hoge@a.mbox.nagoya-u.ac.jp, bar@gmail.com
- [件名]の欄にメールのタイトルを入力する
- 送りたいメッセージを書く
 - 標準的には、宛名、本文(所属と氏名から書き出す)、署名、の順で書く
- メッセージが完成したら宛先を確認し[送信]

標準的なメールの書き方の例

〇〇社 鈴木様

丁寧であると同時に、送信先を間違えた時、
相手も分かりやすい

名古屋大学XX学部の田中と申します。

大学生を対象としたインターンシップの件につきまして
問い合わせをさせていただきます。
募集要項では……

簡潔かつ明瞭に内容を記述

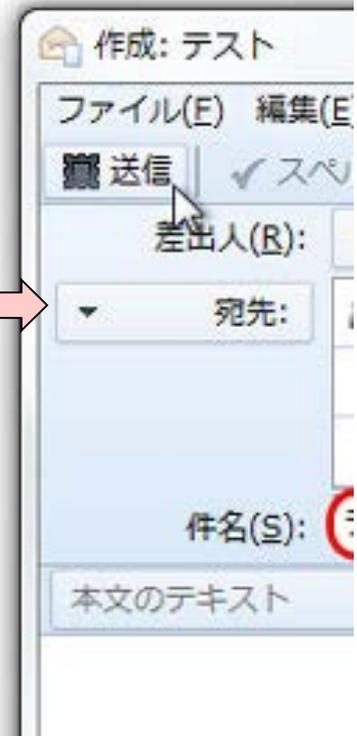
田中 宏 (Hiroshi Tanaka)
名古屋大学 XX学部 1年

定形の署名(signature)を作っておき、
メールクライアントに付けさせると便利

送信先に関連した情報

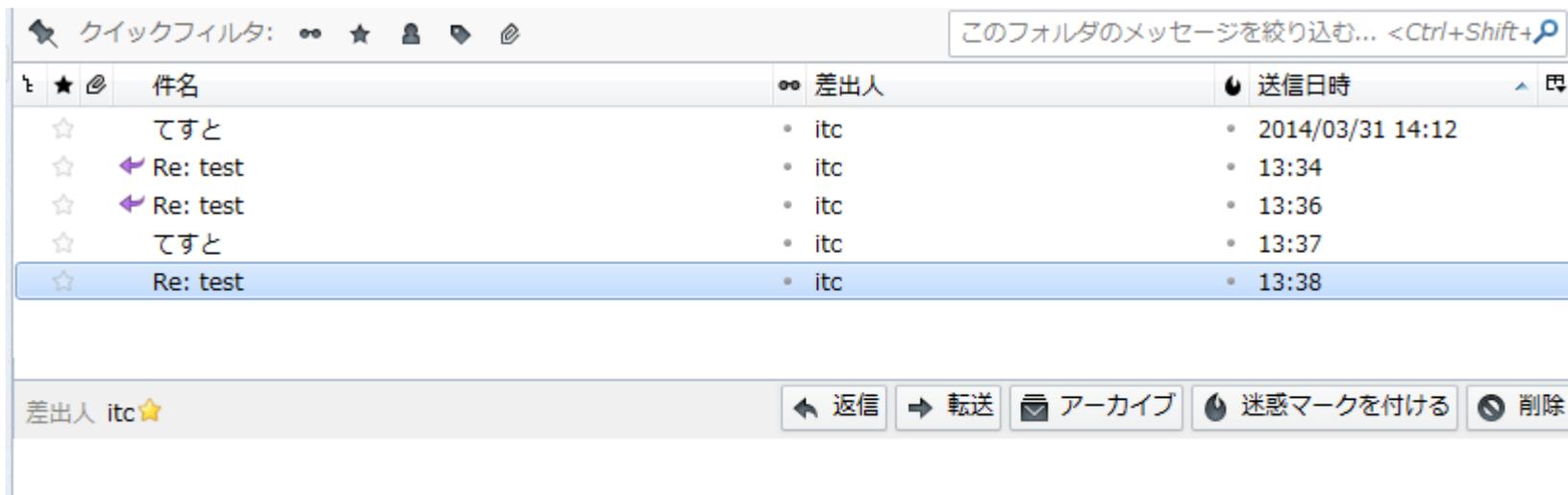
- 宛先(To)フィールド
 - 列挙した場合、送信先同士に宛先が分かる点に注意(Ccも同様)
- 件名(Subject)フィールド
- Cc(carbon copy)フィールド
 - 「参考までに情報を送る」という相手に利用
- Bcc(blind carbon copy)フィールド
 - 送信先同士で宛先が分かって欲しくない場合に利用
- Reply-Toフィールド
 - 返信時に別メールアカウントを指定した場合に利用

ドロップダウン
ボックスで
変更可能



返信

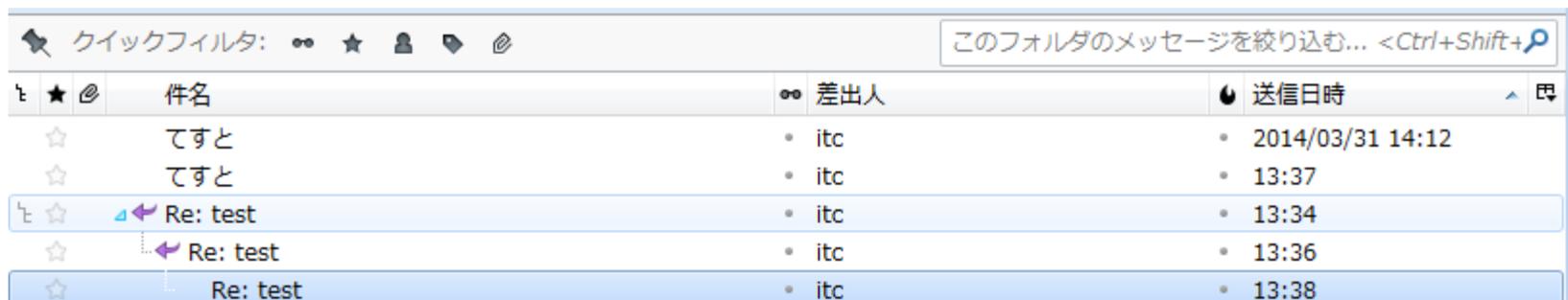
- メールに対して返信する場合、新規作成ではなく、[返信]をクリックして作成
 - メールに「Reply-To」という「どのメールに対する返信か」という情報が付加される
- 「全員に返信」という選択肢が出る場合もあります
 - 宛先が複数人に渡るメールの受信時に出る
 - 「全員に返信→一部の宛先の削除」という使い方もできます



返信とスレッド表示

- [返信]でメールを返信した場合、メール内に返信情報が追加されます
- スレッド表示にすることで、返信履歴を強調した一覧表示にできます
- 返信すると「Re:」が件名に追加されます
 - ラテン語のre(~について)が由来
 - 話題が変わったら「新話題(Was:...)」にするなど、派生した使い方もいろいろあり

スレッド
表示への
切り替え



クイックフィルタ: このフォルダのメッセージを絞り込む... <Ctrl+Shift+P>

		件名	差出人	送信日時
		てすと	• itc	• 2014/03/31 14:12
		てすと	• itc	• 13:37
		Re: test	• itc	• 13:34
		Re: test	• itc	• 13:36
		Re: test	• itc	• 13:38

発展: メールヘッダを覗いてみよう

- 「その他の操作→ソース」で確認可能
- 加工されていないメールの情報が見える
- 経由したメールサーバ、使ったメールクライアント、なども確認可能

```

Return-Path: <shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>
Received: from j.mbox.nagoya-u.ac.jp ([unix socket])
    by j.mbox.nagoya-u.ac.jp (Cyrus v2.3.16-Fedora-RPM-2.3.16-6.el6_2.5) with LMTPA;
    Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900
X-Sieve: CMU Sieve 2.3
Received: from mailrelay2.icts.nagoya-u.ac.jp (mailrelay2.icts.nagoya-u.ac.jp [133.6.186.26])
    by j.mbox.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTMP id C5821A1CA5
    for <shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp (mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp [133.6.186.25])
    by mailrelay2.icts.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTMP id B36CB18D1E17
    for <shimada.hajime@mailrelay2.j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from virus-04.mbox.nagoya-u.ac.jp (virus-04.mbox.nagoya-u.ac.jp [133.6.121.15])
    by mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTMP id A991915E8063
    for <shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from nups01.itc.nagoya-u.ac.jp (nups01.itc.nagoya-u.ac.jp [133.6.82.132])
    by virus-04.mbox.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTMP id A53219FFA7
    for <shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp>; Mon, 31 Mar 2014 14:12:14 +0900 (JST)
Received: from localhost (unknown [133.6.90.249])
    by nups01.itc.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTMP id 5A4C3B6517;
    Mon, 31 Mar 2014 14:11:49 +0900 (JST)
Date: Mon, 31 Mar 2014 14:12:30 +0900 (JST)
Message-Id: <20140331.141230.1366151731969838285.shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>
To: shimada.hajime@j.mbox.nagoya-u.ac.jp
Cc: shimada@itc.nagoya-u.ac.jp
Subject: =?iso-2022-jp?B?GyRCJEYkOSRIGyHc?=
From: Hajime Shimada <shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>
X-Mailer: Mew version 6.5 on Emacs 24.3 / Mule 6.0 (HANACHIRUSATO)
Mime-Version: 1.0
Content-Type: Text/Plain; charset=iso-2022-jp
Content-Transfer-Encoding: 7bit
  
```

経由した
サーバ

メールクライアント名

メール送受信で注意すること(1/2)

- その送信先をTo(宛先)やCcに列挙して大丈夫?
 - 送信者間でメールアドレスが見えてしまう
 - 必要に応じてBccを使いましょう
- マルウェア(コンピュータウイルス)
 - 名大ではメールサーバでチェックはしているが、検出率は下がる傾向にある
 - そもそも暗号化されているとチェックできない
 - 件名に「[WARNING - ENCRYPTED ATTACHMENT NOT VIRUS SCANNED]」という文字が付加される
 - うっかり転送すると、あなたがマルウェア送信者に見えるので注意
 - というか、大学のメールサーバがマルウェア送信サーバになるので、メールの転送設定には注意

メール送受信で注意すること(2/2)

- フィッシング詐欺

- メール中のURLをクリックするのではなく、サービスのトップページからログイン
- 送信者を疑う(差出人欄、メールヘッダ)
 - 応用: 送信経路のIPアドレスから送信元の国を確認する(IPアドレスと割り当てられている国の情報を使う)



送信経路の怪しいメールの例

- Fromは日本のTOPS Systemsだけど
- 最初の送信メールサーバはvps.enlacediseno.com (enlacediseno.comはメキシコで登録されているドメイン)
 - 送信元IPアドレスに至ってはアルジェリア

```
20 Received: from mxsc-3.nagoya-u.ac.jp (mxsc-3.nagoya-u.ac.jp [133.6.1.63])  
21     by mailbackup2.icts.nagoya-u.ac.jp (Postfix) with ESMTP id EDFC015E8058  
22     for <shimada@itc.nagoya-u.ac.jp>; Thu, 26 Nov 2015 00:37:56 +0900 (JST)  
23 X-AuditID: 8506013f-f79856d000002853-9e-5655d5d4e0da  
24 Received: from vps.enlacediseno.com (vps.enlacediseno.com [67.23.251.149])  
25     by mxsc-3.nagoya-u.ac.jp (Symantec Messaging Gateway) with SMTP id 6A.54.10323.4D5D5565;  
26 Thu, 26 Nov 2015 00:37:56 +0900 (JST)  
27 Received: from [41.107.216.37] (port=54136 helo=gbcryp.net)  
28     by vps.enlacediseno.com with esmtpsa (UNKNOWN:DHE-RSA-AES256-GCM-SHA384:256)  
29     (Exim 4.80)  
30     (envelope-from <yukoh@topscm.co.jp>)  
31     id 1a1c8X-0004aQ-RK; Wed, 25 Nov 2015 10:37:39 -0500  
32 From: <yukoh@topscm.co.jp>
```

全学ウェブメールの使い方(1/3)

<https://www2.itc.nagoya-u.ac.jp/zengakumail/>

検索情報: 全学メールのページ(名大 全学メール)からリンクをたどる

1. 「電子メールアドレス」にメールアドレスを入力
2. 「電子メールパスワード」に名大IDパスワードを入力

[English version at the bottom](#)

全学メールログイン	
電子メールアドレス:	<input type="text"/> @ <input type="text" value="ドメインを選択して下さい"/>
電子メールパスワード:	<input type="password"/> <input type="button" value="全学メールログイン"/>
重要なお知らせ	

全学ウェブメールの使い方(2/3)

4. 自分のメールアドレスに含まれているアルファベットのサーバのウェブメールサービスに到着する
5. 「ユーザ名」にメールアドレスの@より前を入力
6. 「パスワード」に名大IDパスワードを入力



← → ×  ☆  https://mail.j.mbox.nagoya-u.ac.jp/webmail/?_task=logout ▼  

roundcube 
Free webmail for the masses

ようこそ j.mbox.nagoya-u.ac.jp Webmail へ

ユーザー名

パスワード

全学ウェブメールの使い方(3/3)

- 作りは一般的なメールソフトとあまり差はありません
 - いちいちウェブメールサーバと通信するので、通信回線が遅いと動きが遅くなる点に注意
- アドレス帳などはThunderbirdとは共用できません
 - Thunderbird間はアドレス帳の書き出し/取り込みは可能



Tips

- よく使う送信先はアドレス帳を使うと便利
 - 「選択→メッセージ作成」でメール作成
 - シフト+クリックで複数選択も可能
- 署名の設定はアカウントの設定から
 - メールアカウントを選択
 - 「このアカウント設定を表示する」をクリック

1.メールアカウントを選択

署名の設定

The screenshot shows the Thunderbird Mail interface. A red arrow points to the account selection dropdown menu, which is currently set to 'shimada.haj...oya-u.ac.jp'. Below the dropdown, a list of folders is visible, including '受信トレイ', '下書き', '送信済みトレイ', 'ごみ箱', 'Junk', and 'ローカルフォルダ'. To the right, the 'Thunderbird Mail - shim...' window title is visible, along with a 'メール' (Mail) section containing 'メッセージを読む' (Read message) and 'メッセージを書く' (Write message) buttons. Below that, the 'アカウント' (Account) section is visible, with a gear icon and the text 'このアカウントの設定を表示する' (Show settings for this account). A second red arrow points to this gear icon.

2.設定を選択

最近の話題

- ランサムウェア(身代金ウィルス)がはやっています
 - zip圧縮された添付ファイルでよく来るので注意しましょう
 - PC側が何か「実行の許可」のようなポップアップを出してそこで防ぐことができる可能性もある
 - Adobe Flashの脆弱性を使う例も多いので、Adobe Flashは常に最新版にアップデートしておきましょう
 - ウェブ広告に悪性Flashが紛れ込んでいる例がちょくちょくある
 - できれば、ブラウザ側はFlash Blockのような物を入れて、クリックしない限りFlashは動かなくようにしておきたい
 - スキの多いランサムウェアでは、専用ツール暗号化された物を回復できることがあります
 - あきらめず、アンチウィルスソフトウェア会社の情報などを調べましょう
 - 偽の情報でさらに罠にかけてくる例もあるので注意